

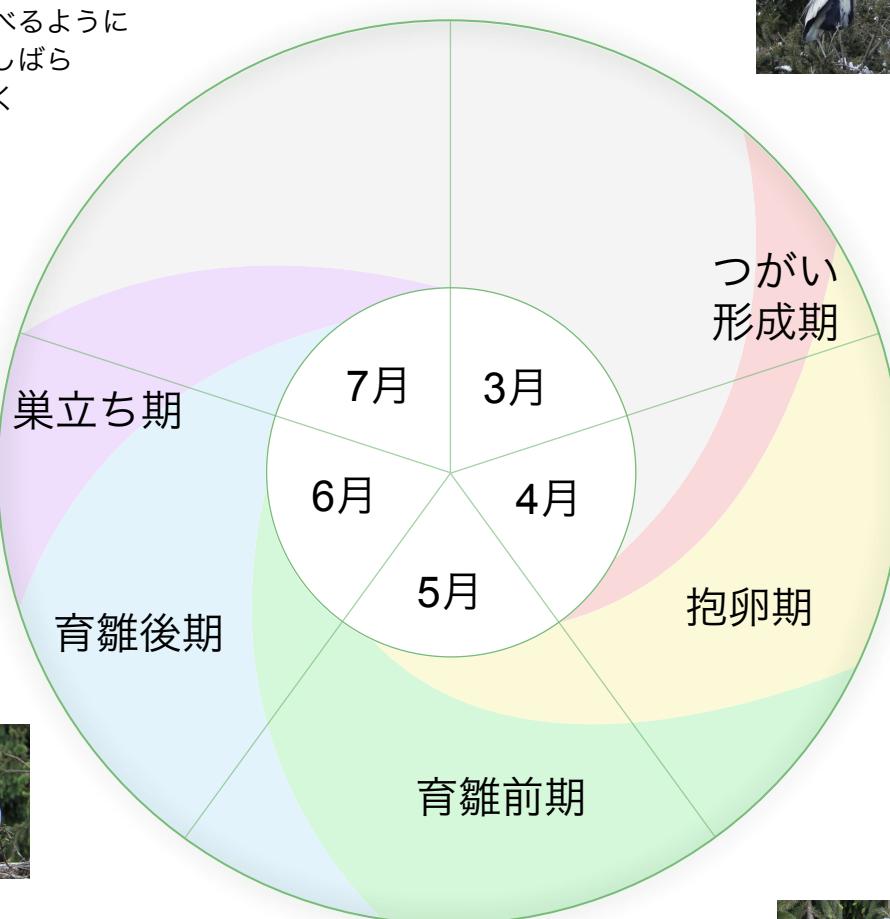
# アオサギ観察会

2010年5月14日

ヒナはもう大きくなつたでしょく?

北海道にアオサギが飛来するのは雪まだ深い3月半ば。コロニーにやってきた雄はいち早く巣の位置を決め、さかんに求愛ディスプレイを行います（つがい形成期）。ほどなくあちこちでペアができ、産卵が始まるのは3月末（抱卵期）。その後、雌雄交代で卵を温め（抱卵期）、4週間弱でヒナが孵ります。北海道だとゴールデンウィーク頃が孵化のピークです。ヒナは生まれて3週間ほどは親がつきっきりで面倒を見ます（育雛前期）が、その後は両親とも巣を離れ、ヒナだけが巣に残る（育雛後期）ようになります。けれども、ヒナが自分で餌を捕るようになるのはまだ

まだ先の話。飛べるように  
なった後もまだしばら  
くは親の運んでくる  
餌だけが頼  
りです（巣  
立ち期）。



北海道では、同じコロニーのペアでも繁殖開始時期にひと月ほどのずれがあります。図の模様が螺旋状に描かれているのはそのためです。